

## 瀬谷区初！

瀬谷区外国人意識調査を実施  
結果を公開しました

～生活満足度が80.5%、一方で地域での関わりはやや希薄～

横浜市内の外国人人口が増加する中、瀬谷区でもこの5年間（平成30年～令和5年）で約30%増加してきました。中国籍の方よりもベトナム国籍の方が最も多いことが特徴です。また、区内の様々な地域に外国にルーツのある方が暮らし、区内全体で多様化が進んでいることが伺えます。

そこで今回、瀬谷区では初となる「瀬谷区外国人意識調査」を実施しました。

調査では、生活に満足している人は8割を超え、大変高いことがわかりました。一方で、地域での近隣住民との関わりは「道で会えば挨拶くらいする」が多く、次に「顔もよく知らない」と、関係性がやや希薄であることが伺える結果となりました。

今後、調査結果を活用し、多言語による情報発信の強化に加え、地域コミュニティ内での交流や相互理解への取組も進めていきます。

## ■ 調査の概要

- ・趣旨：瀬谷区在住の外国人が持つ課題感やニーズ等を把握し、今後の区政、区役所の取組の基礎データとする
- ・調査名称：令和5年度 瀬谷区外国人意識調査
- ・調査対象数：700人（満18歳以上の区内在住外国人を住民基本台帳から無作為抽出）
- ・回収数及び回収率：241件／回収率34.4%（有効回答数231件／有効回答率33.0%）
- ・調査方法：郵送によるアンケート調査（無記名）、郵送または電子回答
- ・対応言語：4カ国語（日本語（ルビあり）、英語、ベトナム語、中国語）
- ・調査期間：令和5年5月1日（月）～令和5年5月22日（月）

## ■ 調査のポイント

## (1)生活の満足度

瀬谷区での生活の満足度（満足+やや満足）は8割と高い（80.5%）

※令和元年度瀬谷区区民意識調査 生活の満足度（満足+まあ満足）（67.8%）

## (2)困りごとや心配なこと

「税金・年金などの公共サービスの制度・手続き」（23.4%）、「外国語の情報が少ない」（19.9%）の一方、「特にない」と回答した人も多い（32.0%）

## (3)近くに住む人との関わり方

「道で会えば挨拶くらいする」と回答した人が最も多いが（42.0%）、「顔もよく知らない」と回答した人が次に多い（16.9%）

## (4)地域住民に望むこと

「差別や偏見をなくしてほしい」が最も高く（42.4%）、2番目は「特にない」（29.9%）、3番目は「簡単な日本語を使って話してほしい」（24.2%）

## ■ 報告書

下記ホームページからご覧いただけます

【URL】

[https://www.city.yokohama.lg.jp/seya/kurashi/kyodomanabi/kyodo\\_shien/kokusai/default20230922.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/seya/kurashi/kyodomanabi/kyodo_shien/kokusai/default20230922.html)



## ■ 今後の取組

調査結果を基礎データとして、多言語による情報発信や、日本語学習の支援、地域コミュニティの中での相互理解の促進など、区内の多文化共生を推進するための取組の検討を進めます。

令和5年度の取組

- (1)区民全体に向けた多文化理解促進の取組（広報よこはま瀬谷区版特集）
- (2)やさしい日本語講座
- (3)日本語ボランティア入門講座

## ■ 地域での取組

これまで地域でも、区民のみなさんによる日本語学習の支援や子どもたちの学習支援、日本文化体験などの取組が行われています。

【参考】地域と連携し実施したイベントの様子

日本語ボランティアグループや、自治会・町内会等と連携し、イベントを開催しています。



夏祭り体験イベント（R4.8）@自治会集会所



お正月体験イベント（R5.1）@長屋門公園

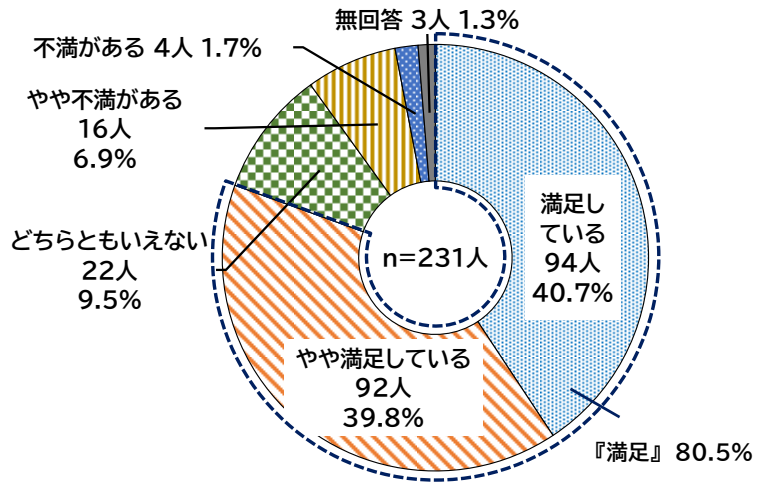
お問合せ先

瀬谷区地域振興課長 松岡 文和 Tel 045-367-5690

## 調査結果のポイント

今の生活の満足度 **瀬谷区での生活の満足度(80.5%)は高い**

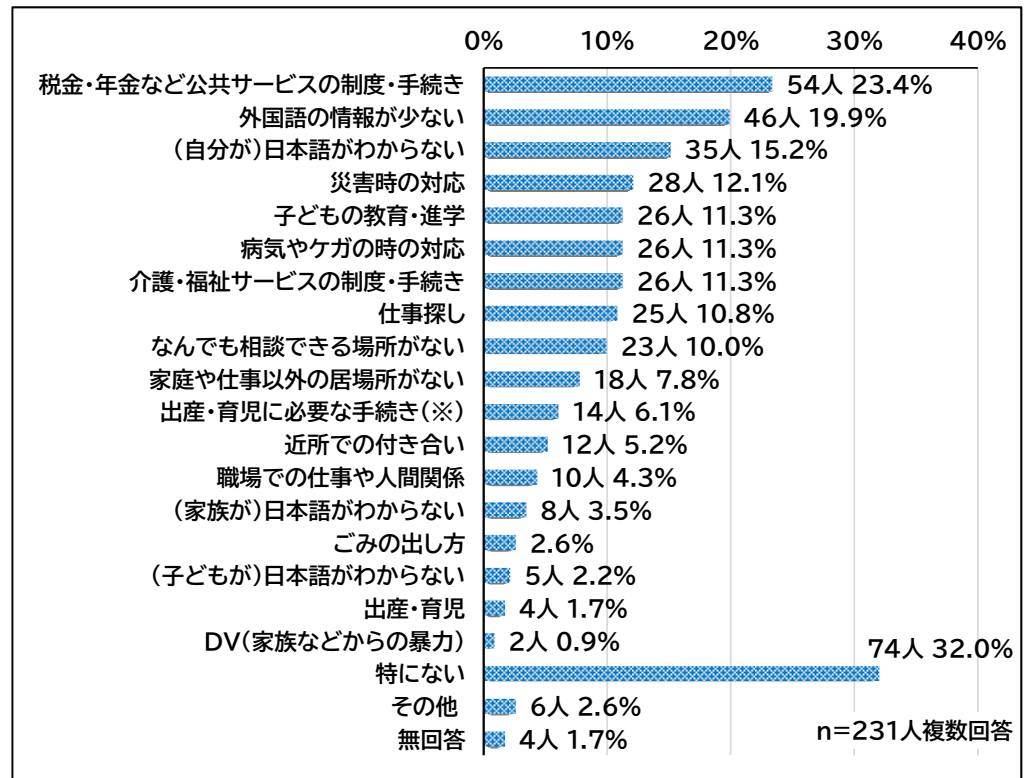
・「満足している」(40.7%)と「やや満足している」(39.8%)を合わせると、『満足』が80.5%である。



瀬谷区の生活で、困っていることや心配なこと

**税金・年金など公共サービスの制度・手続き  
外国語の情報が少ない  
(自分が)日本語が分からない**  
(上位3項目)

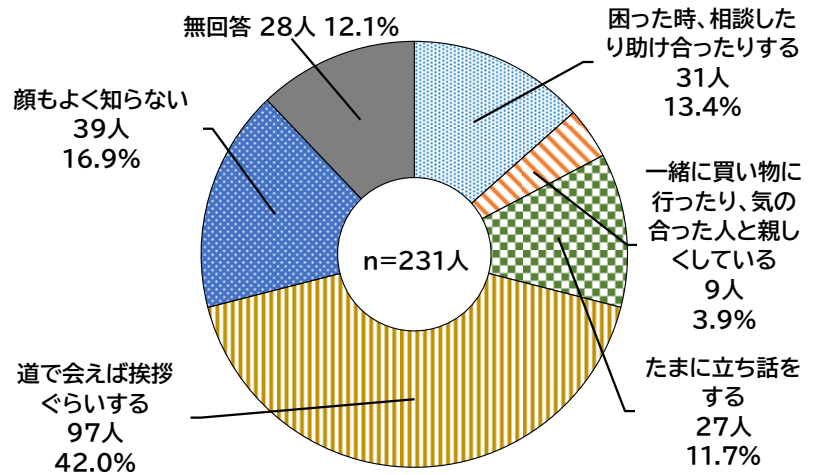
・「税金・年金など公共サービスの制度・手続き」(23.4%)が最も多い。「特にない」が32.0%である。



※ (妊娠・出産した時、保育園や学校のことなど)

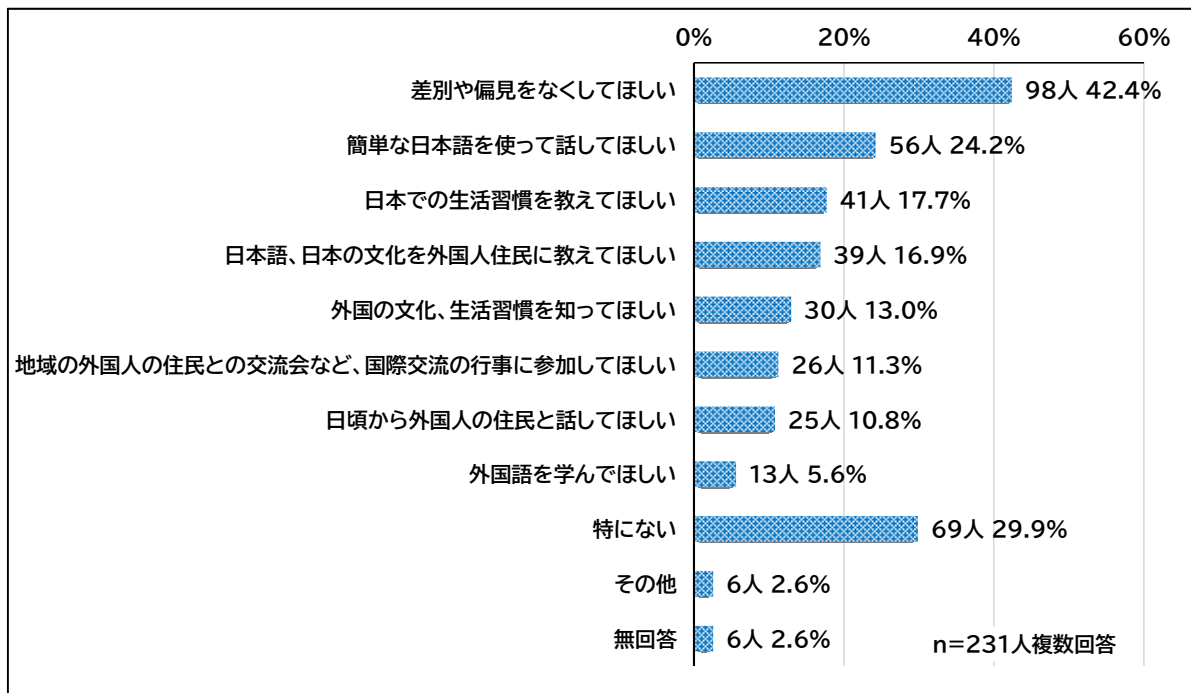
近くに住む人との関わり方 「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多く、関わりはやや希薄

・「道で会えば挨拶ぐらいする」(42.0%)が最も多く、「顔もよく知らない」(16.9%)が2番目で、近隣住民との関わりはやや希薄。一方で「困った時、相談したり助け合ったりする」「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」「たまに立ち話をする」を合わせると29.0%で、全体の3割弱が近所の人と会話を交わす関係性にあると回答している。



地域に住む人にしてもらいたいこと 差別や偏見をなくしてほしい

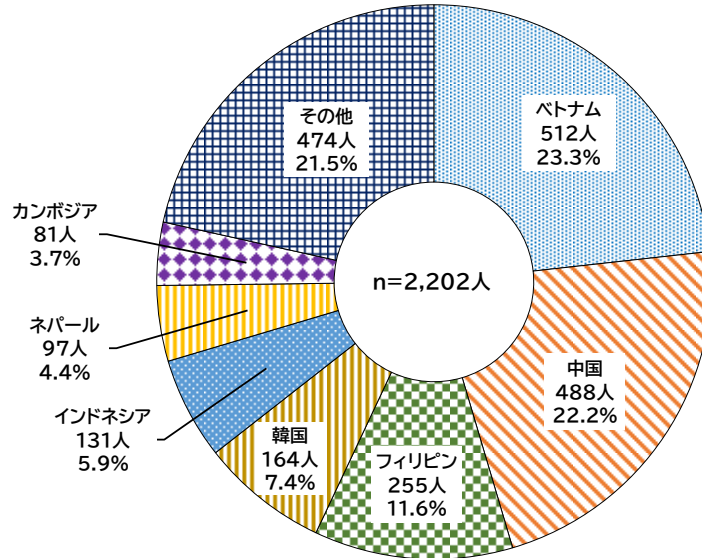
・「差別や偏見をなくしてほしい」(42.4%)が最も多い。また、「簡単な日本語を使ってほしい」(24.2%)といった言葉の面や、日本での生活習慣や日本の文化を教えて欲しい、外国の文化や生活習慣を知ってほしいという希望も。



## 参考資料

### ■ 瀬谷区外国人人口の構成

瀬谷区は、ベトナム国籍の方の区内外国人人口に占める割合が最も高いことが大きな特徴です。また、近隣区と同様に、瀬谷区でもインドネシア国籍の方が急増しています。（前年比 257%）



(R5年4月\_住民基本台帳)

### ■ 国際交流支援事業のこれまでの主な取組み

瀬谷区運営方針：施策3「地域のつながり・支えあい」及び多文化共生の推進に基づき、下記の取組を進めています。

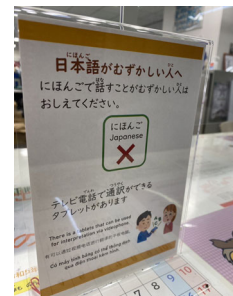
- 1 区内の支援者の育成・連携体制構築  
(YOKE「地域日本語教育推進モデル地域事業」(R3～R5 予定)を活用)
  - (1)日本語ボランティア入門講座の開催 (R3、R5)
  - (2)親子日本文化体験イベントの開催 (R4)
  - (3)支援者等の意見交換会(多文化共生に係る情報交換会)の設置 (R4～)
- 2 当事者のニーズ把握や取組検討
  - (1)区内外国人意識調査による把握 (今回)
- 3 多文化理解の促進
  - (1)窓口での多言語対応案内 (R4～)



1 (1) ボランティア入門講座(R3)



1 (2) 日本文化体験イベント



3 (1) 多言語対応案内